



株式会社 五成舎

所在地 札幌市西区発寒13条12丁目3番45号
 電話番号 (011)661-0181(代表)
 資本金 3,000万円 代表者 白岩大策

沿革

- 昭和5年9月 札幌市北区北10条西4丁目に於いて、石井清三、工成舎を設立。鉱山機械の製作販売を目的に営業を開始した。
- 昭和13年10月 事業の進展により株式会社に組織を変更、資本金12万5千円で北11条東8丁目の地に逐次製缶、仕上、機械の組立工場、事務所を建設する。
- 昭和17年5月 事業は益々進展し、資本金19万5千円に増資し、道内外の金属鉱山の発展に寄与する。当時主要な取引先は住友金属鉱山(国富、余市、鴻之舞、北見、静狩、大宮)三菱鉱山手稲、中外鉱業、日本鉱業等で主なる製作品は浮選設備、オリバフィルター、シックナーアジデーター等であった。
- 昭和19年4月 取締役社長石井清三死亡、厨川勇社長に就任する。
- 昭和19年7月 北海道庁より海軍兵器工業利用工場に指定。横須賀海軍工廠造兵部発注の防空兵器と鉱山機械を生産する。
- 昭和19年12月 官庁の要請により株式会社工成舎を中核とした企業合同により北海道重工業株式会社を設立。海軍管理工場として兵器の生産に邁進する。
- 昭和22年8月 軍需工場の閉鎖により北海道重工業株式会社を解散する。
- 昭和28年10月 故石井清三、次男白岩大策が札幌市北区北11条東8丁目に工成舎を復活。
- 昭和33年3月 資本金100万円にて、株式会社工成舎に改組、白岩大策代表取締役就任。第1種及び第2種圧力容器、荷役運搬機械、産業建設機械、各種タンク類の製造販売と暖冷房衛生給排水設備工事の営業を開始。
- 昭和36年9月 札幌鉄工団地協同組合に加入する。
- 昭和37年3月 北海道管工事工業協会に加入する。
- 昭和38年3月 資本金200万円に増資する。
- 昭和39年4月 資本金400万円に増資する。
- 昭和40年3月 鉄工団地の敷地 5,700㎡に第1期工事として 756㎡の製缶工場を建設し、砕石プラント、バッチャプラント、化工機等大型産業機械の製造販売を開始。
- 昭和42年3月 札幌市指定水道工事業者となる。
- 昭和42年4月 資本金600万円に増資する。
- 昭和44年1月 第2期工事として製缶工場 330㎡増築。
- 昭和45年5月 資本金1,000万円に増資する。
- 昭和51年10月 製缶工場 147㎡増築する。
- 昭和52年5月 資本金1,500万円に増資する。
- 昭和52年10月 鉄工団地に 341㎡社屋新築、事務所移転。
- 昭和53年4月 資本金2,000万円に増資する。
- 昭和53年5月 資本金2,150万円に増資する。
- 昭和55年4月 士別方面の需要家の要望により士別営業所を開設、営業を開始する。
- 昭和55年7月 資本金3,000万円に増資する。

生産品目

- 製作部門 天井走行クレーン、門型クレーン、ベルトコンベア、バケットコンベア、圧力水槽、埋設タンク、砕石プラント、バッチャプラント、熱交換器等設計製作。
- 管工事部門 冷暖房設備工事、空気調和設備工事、衛生給排水設備工事、上水道工事等の設計施工。

役員

- 代表取締役 白岩大策
- 専務取締役 中谷輝二
- 取締役営業部長 沖寿雄
- 取締役総務部長 柴田亮悦
- 監査役 渡辺正利

会社概要

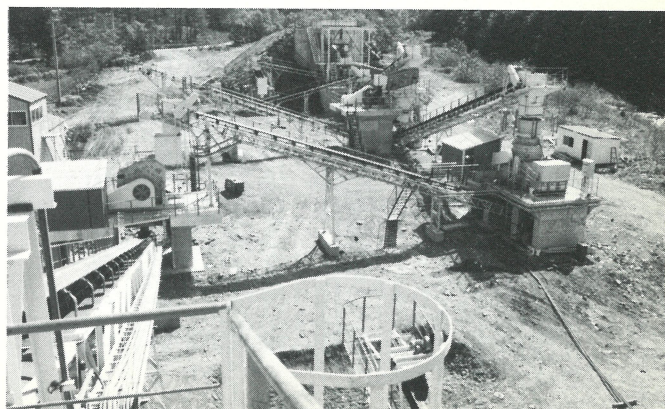
- 面積 敷地 5,700㎡ 事務所 341㎡
工場 1,233㎡
- 従業員 技術職員 22名 事務職員 7名
作業職員 20名
- 営業所 〒095 士別市東2条北3丁目
☎(01652) 2-3037
- 従業員 技術職員 2名 事務職員 1名
作業員 5名

有資格者

- 土木施工管理技士 1名 管工事施行管理技士 10名、
ボイラー技士 5名、札幌市水道工事責任技術員 10名、
ガス溶接技能講習修了者 17名、玉掛講習修了者 15名、
アーク溶接士 9名、消防設備士 5名 配管工 10名、
貯水槽衛生管理者 2名、排水設備工事技能者 4名。

主要機械設備

- ベンディングローラー 1台 アングルベンダー 1台
- 油圧プレスブレーキ 2台 スケアシャーリング 1台
- ラジアルボール盤 1台 コッターマシン 1台
- 天井走行クレーン 2台 門型クレーン 1台
- 技型、卓上ボール盤 4台 パワープレス 2台
- 半自動溶接機 2台 アーク溶接機 20台
- ジブクレーン 4台 その他 18台



砕石プラント